

2023年の重点テーマ2 SDGsの推進



子どもたちと拓く SDGs未来都市としま

3年目となる「SDGs達成の担い手育成事業」を“推進・発展期”に位置づけ、区立小中学校全校で、学校と地域、子どもと大人が、SDGsについてともに学び、行動して、「自分ごと化」を進めています。
2022年に開催した「豊島区こども未来国連会議」では、“住み続けられる未来の豊島区”をテーマに小学校高学年の子どもたち約50名が集まり、チームごとに議論を行った後、議場で大人たちに提言しました。

SDGs達成の担い手育成

オールとしまでSDGs達成に挑戦！
再生PET繊維エコバックでの地域活性化や通学路フラワーロード運動等、子どもたちが地域の大人たちと力を合わせて活動。



〔巣鴨北中学校〕
再生PET繊維エコバック



〔高松小学校〕
ペットボトルフラワーロード

豊島区こども未来国連の開催

自分たちの未来は自分たちでつくる！
子どもたちがフードロスや緑化推進などを議論し、豊島区の未来について提言。



2023～2024年「こども未来国連会議」
(内閣府認証事業)

2025年「こども未来国連会議」
in大阪・関西万博(予定)

子どもたちの取組が地域の大人や企業へ波及します！

区民ひろば



SDGs紙芝居「地球を笑顔に みんなでSDGs」の読み聞かせの様子

企業



西武造園(株)主催の間伐材を使ったSDGsワークショップ

SDGs 特命大使



SDGs子ども大使が区長に提案している様子

令和4年11月末現在、
2,058名が特命大使に任命されています。

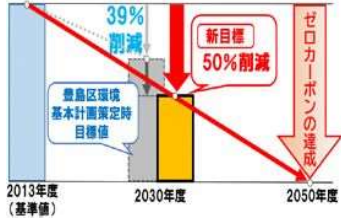
豊島新時代の集大成 2030年 SDGs達成⇒2032年 区制施行100周年



2050としまゼロカーボン戦略の推進

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ実現に向け、オールとしまによる取組を進めます。

温室効果ガス削減目標



ゼロカーボン達成に向けた4つのアクション

- ① 環境にやさしいエネルギーの利用促進と省エネルギー化の推進
- ② 未来へ向けたライフスタイルの転換
- ③ 資源循環・3Rの推進
- ④ 区の率先行動

オールとしまで推進

区、区民、事業者それぞれが取り組む！

プラスチック資源回収

「燃やすごみ」として処理している「プラスチック製容器包装(レジ袋・菓子袋等)」と「製品プラスチック(洗面器、プラ製ハンガー等)」を資源として回収、リサイクルします。

令和5年4月～
モデル事業実施 → 10月～
区内全域で
本格実施

燃やすごみ約1,995トンが資源に！
約3,189トンのCO2を削減！

資源回収やごみ収集の情報を発信！

区HPIに特設サイトを設置
詳細なQ&Aで新分別ルールを説明。
わかりやすい動画も配信予定！



豊島区版ごみ分別アプリの新規導入
スマホから簡単に情報を入手！
分別に迷ったら簡単検索。



マイボトルの利用促進

区民ひろば14か所に給水スポットを設置し、ペットボトル削減を推進。

プラスチックの削減を強化

エコ住宅推進

太陽光パネルに加え、蓄電池への助成を拡充。再生可能エネルギーの導入を後押しします。

助成メニューを8種類に拡充

ひきこもり支援体制の強化

区は令和3年からひきこもり専用の相談窓口やサイトを設置し、いつでも、どこでも、誰でも相談できる仕組みを構築しました。ひきこもり支援にはご家族の力添えが重要であることから、家族交流会や専門の知識を有する各種支援団体による合同相談会を実施し、家族支援を一層強化します。



◆「民生委員・児童委員、青少年育成委員アンケート」より把握しているひきこもり当事者の約8割は家族と同居

◆「ひきこもり相談窓口」の実績より初回相談の約7割は、当事者の家族からの相談

◆家族が抱える課題を解決することで、ひきこもり当事者との関係が良好になり、解決の第一歩に！

ひきこもりの解決には、「家族の力」の回復が重要！



家族交流会



各種支援団体による家族に向けた合同相談会